

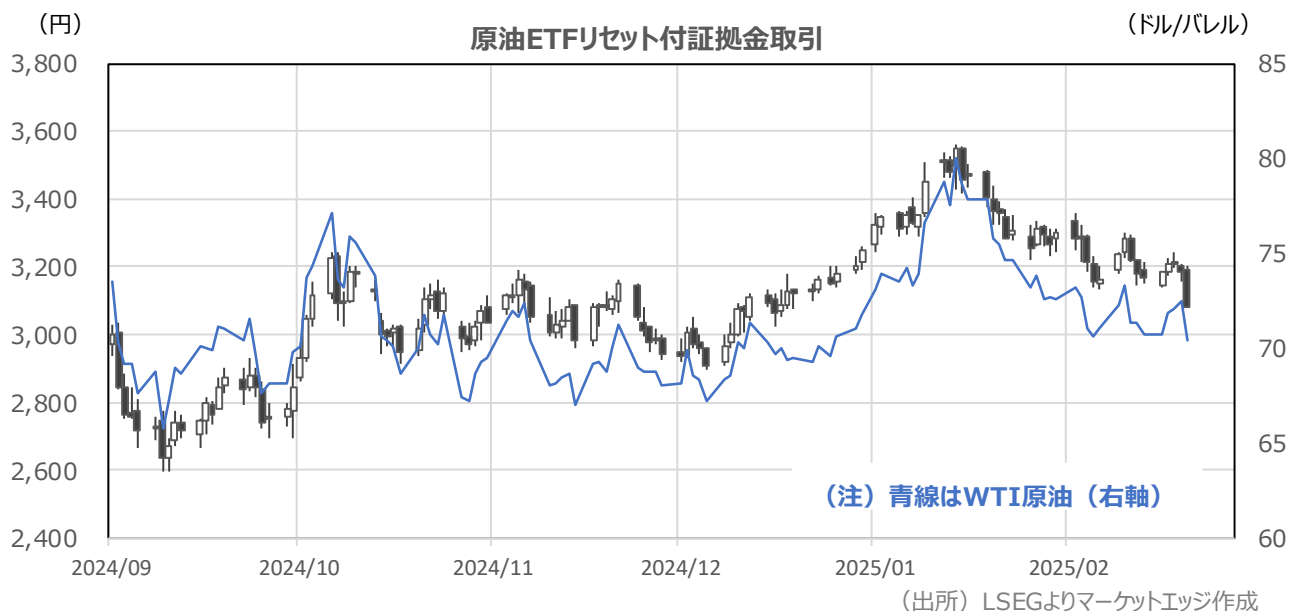
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/02/25号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



パイプライン攻撃で一時反発も、戻り売り優勢

NY原油先物相場は、1バレル=70～73ドルのレンジで売買が交錯した。需給緩和見通しを背景に年初来安値を更新したが、2月17日にロシアを通過するクロフトキンスカヤ・パイプラインなどがドローン攻撃を受けると、カスピ海から黒海向けの原油輸送に混乱が生じたことで、一時73.14ドルまで切り返した。しかし、戻りでの売り圧力は強く、週末にかけては再び70ドル台中盤まで下落している。米原油在庫は4週連続で増加したが、原油相場の反応は限定的だった。

トランプ米大統領主導でウクライナ停戦に向けて米ロ当局者の協議が行われている。当初は早期停戦、それに伴うロシア産原油の供給正常化期待が原油相場の上値を圧迫したが、影響は限定的だった。トランプ大統領は、ウクライナのゼレンスキー大統領を「独裁者」と呼んで批判し、欧州が停戦協議に参加することにも否定的であり、実際に早期の合意形成が可能なのか慎重な見方が強くなった。また、停戦合意とロシア制裁解除は別問題との見方も、原油相場に対する影響を限定した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（2月14日時点）は、原油が前週比463万バレル増、ガソリンが15万バレル減、石油精製品が205万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

需給緩和で戻り売り優勢、70ドル割れを試す

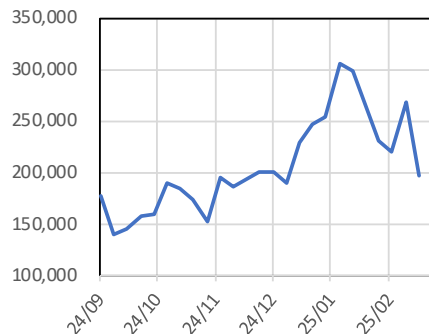
今週も戻り売り優勢の展開が続く見通し。70ドルの節目を割り込むと、67～68ドル水準まで下値が切り下がる可能性がある。引き続き、季節的な需給緩和圧力が強く、マクロ需給環境からは下振れリスクが維持される。米製油所は定期メンテナンスの時期を迎えており、特に米原油在庫が5週連続の増加報告になると、売り安心感が強まりやすくなる。

また、トランプ米政権の通商政策にも注意が必要。米中間では関税の応酬が始まったが、トランプ大統領はその後も各国に対する相互関税、自動車・半導体・木材などに対する追加関税など、連日のように新たな関税策を発表している。あくまでもディール（交渉）が目的であり実際の関税発動は限定されるとの見方も根強いが、すでに一部経済指標では消費者マインド悪化の兆候なども確認されている。2月23日には米国株が急落したが、今週も株式市場で景気リスクの織り込みがさらに進むような動きがみられると、原油相場の上値は圧迫されやすくなる。通商リスクが景気リスクに発展するかに注目したい。

一方、上昇シナリオは引き続き突発的な供給リスクの浮上になろう。前週はロシアでパイプラインがドローン攻撃を受けたが、同様の攻撃が続くようであれば、70ドル台前半で反発が打診される。米政府の対イラン制裁に新たな動きがみられた際にも、買いが膨らみやすくなる。石油輸出国機構

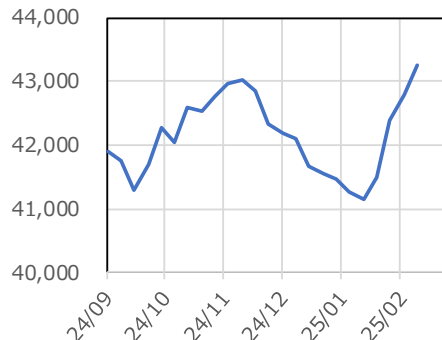
（OPEC）プラスが4月から予定している減産縮小計画について、先送り観測が浮上し始めていることにも注意が必要。原油価格低迷で減産縮小の先送りを求める声が強まると、安値修正の動きが活発化する可能性は想定しておく必要がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



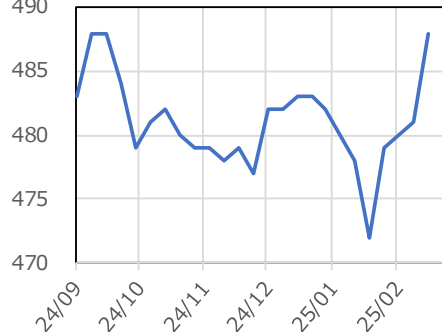
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

